



RI第2510地区 第4・第5グループ合同
Intercity Meeting

～国境を越える新世代～

3.11から感じた命と平和



photos by Allison Kwesell

第一部 基調講演 (オープニングスピーチ)

「ファインダーを通して見た東北」

アリソン・クウェッセル氏 (Allison Kwesell)

第二部 新世代シンポジウム

「3.11から感じた命と平和」

コーディネーター

村山 紀昭氏 (前北海道教育大学学長)

日時 2013年3月23日(土) 13時30分～

会場 札幌パークホテル

札幌市中央区南10条西3丁目1-1 TEL011-511-3131

登録料 6,000円



◆主催

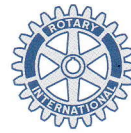
国際ロータリー第2510地区第4・5グループ
(札幌市内16クラブ)

◆ホストクラブ

札幌モーニングロータリークラブ

◆コ・ホストクラブ

札幌南ロータリークラブ



3・11から感じた命と平和

〜国境を越える新世代〜



基調講演者(オープニング スピーチ) アリソン クウェッセル氏 (Allison Kwesell)

フリーランス・フォトジャーナリスト、2011年度ロータリー平和フェロー、国際ロータリー ポリオプラス・プロジェクト・フォトグラファー、国際基督教大学在学中。米国テネシー州出身、28歳。東日本大震災後、東北・石巻で「フォトウホク」活動を開始しチームで被災者をカメラに収め、写真を“生きるあかし”としてプレゼントしている。

チームの目的は、生き残った人たちに新しいアルバムと新しい思い出をつくるお手伝いをする事。クウェッセルさんは仮設住宅の前で孫と一緒に写真を撮ったある女性の事を思い出します。彼女は、私がそこで自分の写真を撮ることを決めてくれて幸せだと言いました。なぜなら、そのことが前進する勇気をあたえたからです。

(ロータリーの友 平成24年3月号から)



シンポジウム・コーディネーター 村山紀昭氏

前北海道教育大学学長、札幌姉妹都市協会会長。札幌国際大学学長、中教審、大学設置審委員などの公職多数を歴任。美深町出身、専門は哲学。著書「北の教育と人づくりを求めて」で「ボランティアのすすめ」を書いている。国際交流の必要性を強調し、道教育大学の国際化を進めた。

シンポジウム討論参加者

日本、中国、韓国、台湾、米国、フィリピン、インドネシア（インターネット参加）などのロータリー交換留学生、米山奨学生・学友、ロータリー国際親善留学生、インターアクトで被災地支援活動を経験した人を中心に体験と感想を語ってもらう。また海外で活動している元国際親善留学生やインドネシア在住の米山学友にも討論に参加してもらう。

◇東北被災地の商品販売コーナーを会場外のスペースに設ける。

売り上げ金を支援活動に寄付する

◇共催 札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会

後援 札幌市、北海道新聞社、北海道文化放送など